

山の日

理事長 永井 俊彦



8月11日は、「山の日」です。「山の日」は平成26年(2014)に「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨として制定され、平成28年(2016)より施行されました。

一方「海の日」は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として平成7年(1995)制定、平成8年(1996)施行されました。制定当初は7月20日でしたが、平成15年(2003)に改正されたハッピーマンデー制度により7月の第3月曜日となりました。この7月20日というのは明治9年(1876)明治天皇が東北地方巡幸に際し灯台巡視船「明治丸」に乗船し7月20日に横浜に無事帰港したことにより、昭和16年(1941)時の通信大臣・村田省蔵が提唱した「海の記念日」に由来するものだそうです。

祝日法では、「趣旨」は規定されていますが、「由来」については規定されていないので日にちに関しては制約がありません。「山の日」について、当初6月上旬、海の日翌日、お盆前という案があったようですがお盆休みと連続させやすいとのことで8月11日となったそうです。お盆休みと直結する8月12日は日本航空機の御巢鷹山の事故と重なるので敬遠されたそうです。

話は変わりますが、海水浴シーズン、夏山シーズン、の前に「海開き」「山開き」が行われています。海水浴場などは範囲が狭いので複数の日にちがあることはありませんが、「山開き」の日は同じ山でも県や地域によって異なることがあります。

例えば富士山の「山開き」は、静岡県では7月10日であるのに対し、山梨県側では7月1日です。また、北アルプスでは上高地でウエスタン祭(6月第1週土曜日)を行います。飛騨では5月10日に新平湯温泉の「村上神社」で播隆上人(文政11年(1828)7月20日槍ヶ岳を初登頂し開山した)を称えた播隆祭(中部山岳国立公園、北アルプス飛騨側開山祭)が行われています。その土地によって山に対するこだわりがあるのでしょうか。

コロナ禍、気晴らしに森林浴などに出かけてみてはいかがでしょうか。